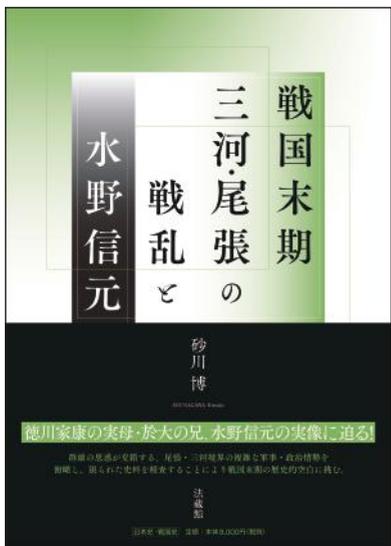


戦国末期三河・尾張の 戦乱と水野信元

すながわ ひろし
砂川 博著

▼A5判・上製カバー・378頁・定価八、八〇〇円

2025年9月刊行



戦国末期の尾張と三河の境目の領主・水野信元について、限られた史料を駆使し、複雑な軍事・政治情勢を俯瞰しつつ、その動静を探る。

【目次】

はしがき

史料(資料)一覧

- 第一章 天正十三年の水野信元の立ち位置
- 第二章 松平広忠と於大の離縁
- 第三章 松平信孝の追放
- 第四章 今川義元の三河侵攻と松平信孝
- 第五章 織田信秀と松平広忠の抗争
- 第六章 今川従属後の松平広忠
- 第七章 水野信元の外交
- 第八章 水野信元と織田信長の締盟
- 第九章 水野信元と桶狭間の合戦
- 第十章 桶狭間の合戦後の松平元康
- 第十一章 石瀬の合戦
- 第十二章 水野信元の自裁

結びに代えて——「境目」の領主水野信元の宿命

関係城郭一覧
三河・尾張の戦国史関連年表
あとがき

◆著者略歴

砂川 博(すながわ ひろし)

一九四七年、鳥取県生まれ。一九七〇年、鳥取大学教育学部卒業。一九七〇年～八三年、兵庫県立姫路商業高校、尼崎西高校、明石西高校教諭。一九八三年～九五年、北九州市立大学文学部専任講師、助教授、教授。一九九五年～二〇一一年、相愛大学人文学部教授。現在、相愛大学名誉教授。博士(文学)。
主な著書に、『平家物語新考』(東京美術、一九八二年)、『軍記物語の研究』(桜楓社、一九九〇年)、『中世遊行聖の図像学』(岩田書院、一九九九年)、『平家物語の形成と琵琶法師』(おうふう、二〇〇一年)、『一遍聖絵研究』(岩田書院、二〇〇三年)、『軍記物語新考』(おうふう、二〇一一年)、『徹底検証 一遍聖絵』(岩田書院、二〇一二年)、『因幡鹿野城主 亀井茲矩』(岩田書院、二〇一二年)、『天正六年十月 荒木村重 逆心』(岩田書院、二〇一三年)など。

注文書
(書店印)

様冊

ご担当

法蔵館

定価八、八〇〇円

ご住所

砂川 博著

戦国末期三河・尾張の

戦乱と水野信元

お電話

お名前

ISBN: 978-4-8318-7799-4 C3021

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp